

＝ 令和7年度 全国学力・学習状況調査結果より ＝

6年生21名を対象に、「令和7年度全国学力・学習状況調査」が、国語、算数、理科の「調査問題」、家庭や学校での生活の状況について尋ねた「児童質問紙調査」の内容で実施されました。

全国の平均正答率との比較や質問紙調査の回答状況、京都市教育委員会による結果分析についての総括をもとに、学校運営協議会理事会および校内での検討を経て、成果と課題面を中心とした今後の改善策についてまとめました。

1 国語科に関して

国語科においては、全国平均、京都府平均を数ポイント下回る結果となりました。内容別に見ていくと、思考力・判断力・表現力等を問う問題において、「書くこと」「読むこと」については、全国平均、京都府平均とほぼ同ポイントでした。校内で重点的に本文の中から根拠をもって読むことや、日頃から書いて表現する活動を重ねていることの成果であると考えます。一方で、「話すこと・聞くこと」について全国平均や京都府平均を大きく下回る結果でした。

今回、課題となった「話すこと・聞くこと」の問題の中で、特に正答率が低かった問題（下に示した設問）を見てみると、求められている力として、

- ・自分の聞きたいことや明らかにしたいことを明確にし、相手の回答に応じて必要な情報を引き出すことができるように聞く力

が挙げられます。問題が、インタビュー形式の設問となっており、学習活動においてインタビューなど様々な方法で情報を集める経験が生かされると考えられます。国語科だけではなく、様々な教科の学習の中で、情報収集を行う際に多様な方法（インタビュー・アンケート・フィールドワーク・文献資料など）を経験していくことを大切にしていきたいと考えます。また、情報収集の中で、自分が知りたい情報が手に入ったのかどうか吟味し、必要に応じてさらに情報を引き出すように再チャレンジする試行錯誤の経験も大切になってくると考えられます。

三 小森さんたちは、バスの運転士の岡さんにインタビューをさせていただきました。次の「インタビューの様子の一部」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

「インタビューの様子の一部」

小森さん 岡さん、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、岡さんの仕事と関係についてうかがいます。どうぞよろしくお願ひします。

岡さん どうぞよろしくお願ひします。

小森さん はじめに、バスの運転士として岡さんが大切にしていることを教えてください。

岡さん バスはたくさんの人を乗せていますから、やはり、安全に目的地までお送りすることを大切にしています。

小森さん 安全運転することは大事なことですね。実際に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。

岡さん 道が混んでいると時刻どおりに運行できないこともありますが、あわててしまうと、大きな事故につながりかねないので、落ちついて運転するようにしています。それに、バスの安全を守っているのは運転士だけではなく、乗客さんでもあります。

小森さん えっ、そうなんですか。乗客さんのほかにもどんな人がいるのですか。

岡さん 出発する前に、自分でもバスの点検をしますが、整備士も定期点検をしています。そのほかにも、私たちが運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいます。

小森さん なるほど、たくさんの方が、乗客の安全を考えてくださっているんですね。私たちは、時間を守ることも大切だと思っていますが、私たちが思っている以上に安全を第一に考えようと思いたいです。ありがとうございます。

清川さん さ、(インタビューが続く)。

(1) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが、――部Aのように発言した目的として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 自分が知りたいことをより具体的に知るため。
- 2 質問する理由を相手に正しく伝えるため。
- 3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
- 4 相手が伝えたいことの内容を明確にするため。

(2) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが、――部Bのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 相手の答えは自分の予想どおりであることが分かったから。
- 2 自分が聞こうとしていた内容のほかには、新たに聞きたいことが見つかったから。
- 3 相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めることができたから。
- 4 自分が共感した内容を取り上げて、話題を広げようと思ったから。

2 算数科に関して

算数科においては、全国平均、京都府平均をいずれも下回る結果となりました。領域別に見てみると、特に「図形」「測定」「変化と関係」の領域において大きく課題が見られました。

今回、課題となった「変化と関係」の領域で、特に正答率が低かった問題（下に示した設問）では、求められる力として、

・日常生活の様々な場面と授業で得た知識や技能を結び付け、問題の場面と解決への道筋をイメージすることができる力

・問題の解決までの道筋を、適切な言葉や式を使って正しく記述する力

が挙げられます。算数の学習事項と日常生活との関わりを意識できるように、子どもたちの生活に根ざしたテーマの問題に取り組んだり、学習のまとめで生活との関わりを考えたりすることが大切だと考えます。また、国語の学習で身に付けた「物事を筋道立てて説明する力」が算数で生かせることを理解できるように、学習活動の中で具体的に取り上げることにも取り組んでいきたいです。

(2) 学校の手洗い場に、別の容器に入っている使いかけのハンドソープがあります。

次に、あさひさんたちは、そのハンドソープを空になるまで使うとしたら、あと何プッシュすることができるのかを考えています。



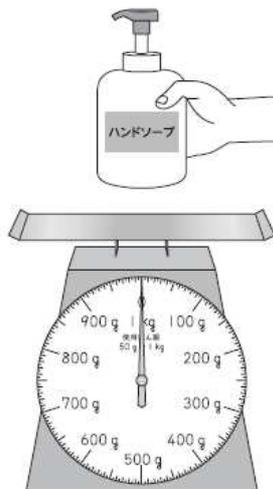
あさひ

新品だったらハンドソープの液体が何 mL 入っているのかは、はっきりわかるけれど、使いかけのハンドソープの液体が何 mL 入っているのかは、すぐにはわかりません。



かんな

ハンドソープの液体の重さをはかって調べられないでしょうか。



このハンドソープの液体と容器を合わせた重さは 270 g でした。
使いかけのハンドソープが空になるまであと何プッシュすることができるのかを知るためには、270 g の他に何がわかればよいですか。
下の **ア** から **エ** までの中から **2つ** 選んで、その記号を書きましょう。
また、その **2つ** と 270 g を使って、あと何プッシュすることができるのか、その求め方を式や言葉を使って書きましょう。

- | | |
|------------------------------|-------|
| ア 新品のハンドソープの重さ | 360 g |
| イ ハンドソープの容器の重さ | 60 g |
| ウ 1プッシュ分のハンドソープの液体の重さ | 3 g |
| エ かんなさんが 1日に手を洗う回数の平均 | 7回 |

3 理科に関して

理科においては、全国平均、京都府平均を数ポイント下回る結果となりました。区分・領域ごとに見ていくと、A 区分「粒子」を柱とする領域の問題では、全国平均、京都府平均をどちらも上回っていましたが、B 区分「生命」が全国平均を上回るも京都府平均を下回り、A 区分「エネルギー」、B 区分「地球」については全国平均、京都府平均をどちらも下回るという結果でした。

今回、特に正答率が低かった設問（右に示した設問）では、求められる力として、

・実験装置以外の様々な場面と授業で得た知識や技能を結び付け、問題解決への道筋をイメージし、論理的に説明できる力

が挙げられます。

理科で扱う学習内容は、自然の中で見られるもの、また生活の中で生かされているものが多くあります。ですので、理科に関しても、学習で得た知識が日常生活の中でどのように使われているのか、これまでどのような場面でそれにふれてきているのか、ということ意識していくことが大切だと言えます。また、算数と同じように、国語の学習で身に付けた「物事を筋道立てて説明する力」を活用して、筋道立てて表現することも大切になってきます。各教科の学習をばらばらに進めるのではなく、つながりを意識し、身に付けた力を他の教科の中でも発揮することで、より深い知識の定着や技能の獲得が実現するものと考えています。

3 児童質問紙より

学校として重点的に取り組んでいることに関わる児童質問紙の結果から特徴的な項目をいくつか紹介いたします。

まず学校教育目標に掲げる「子どものよさや可能性を最大限に伸ばす」ことに関連して、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対しては、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」という肯定的な回答が100%となりました。また、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問に関しても、肯定的な回答が、全国平均や京都府平均を大きく上回りました。さらに、「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事は除く）」という質問に関しても、肯定的な回答が高く、PTA 行事や地域行事の中で、周りの大人の方々

いおりさんは、かね（ベル）が鳴るしくみについて考えています。

スイッチを入れたら、かね（ベル）が鳴るしくみになっているね。

スイッチを人形に置きかえ、人形に剣を当てたときだけ、かね（ベル）が鳴るようにしたい。

いおり

(2) 「人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、かね（ベル）が鳴る」のは、どのような回路でしょうか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1

2

3

4

に支えられ、学んだり、楽しく経験の幅を広げたりすることができていると実感していることがうかがえます。今後も、学校として、保護者の方や地域の方と連携し、子どもたちを温かく見守り、よりよい成長へと導いていく取組を大切に進めていきたいと思ひます。

学習につながる項目として「読書は好きですか」という質問に対しては、肯定的な回答が残念ながら全国平均や京都府平均を下回りました。学校として、本に親しむことができるような図書室の環境整備や、読書に興味をもつことができるような委員会活動の取組などを進めているところですが、さらに子どもたちの意欲を高めていくことができるような取組になるように工夫したいと思ひます。養正小学校の子どもたちだけでなく、大人も含め「活字離れ」が広く社会課題として取り上げられていますので、地域の図書館など外部からもアイデアを取り入れることができるようにしていきたいと思ひます。

なお、この調査結果は、本校児童の学力実態や生活状況の一部を示しているものにご理解いただいた上で、家庭でお子たちと学習や生活に関して話をされるときに資料の一つとして活用してください。